

# Investors' Report 2009

---

ngi group株式会社



## 株主の皆様へ

株主の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
昨年9月以降の世界的な経済情勢の悪化、円高の進行、株式市場の大幅な下落など、世界を取りまく経済環境は想像を絶する変化を見せております。

このような環境下におきまして、ngi groupでは、強固な財務基盤を構築し、成長に向けた浮揚力を高めるために、2009年2月1日より経営体制を刷新し、徹底した経営合理化に取り組みました。その結果、業績ハイライトでお伝えしている業績となり、また2009年3月期の期末配当に関しましては無配とさせて頂きました。

株主の皆様にご多大なるご心配並びにご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。

経営合理化によるコストの大幅な削減は、2010年3月期以降の利益率改善に寄与するものと考えます。

また、保有株式の厳格・保守的な再評価の結果、現時点で考えられる将来の減損リスクの縮小に努めました。

このような安定した財務基盤をもとに、スピードと生産性を念頭においた運営体制を築き、当社グループは新たな事業フォーカス

である、「新しいモバイルインターネット」、「ソーシャルインターネット」、「3Dインターネット」という次世代インターネットの領域においてNo.1企業集団を目指します。

インターネットの未来を創る企業集団として、成長するグループ企業と一丸となり、また、創業以来インキュベーターとして培った事業育成ノウハウと人脈社脈を最大限に生かし、グループ企業価値の最大化に邁進して行く所存です。

株主の皆様におかれましては、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

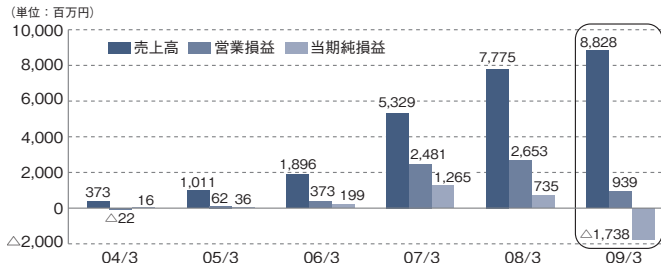


代表執行役社長

金子陽三

# 業績ハイライト (2009年3月期)

## ◆営業成績

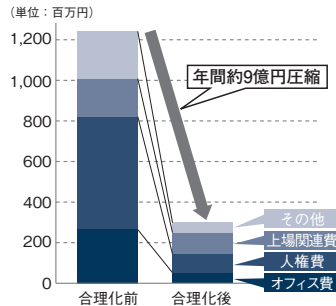


当連結会計年度の連結売上高は8,828百万円となり、手元流動性の向上を目的として保有する営業投資有価証券等の処分や評価を厳格・保守的に行った結果、費用負担が増加し、連結営業利益は939百万円となり、連結経常利益については、持分法投資損失や貸倒引当金繰入等により702百万円となりました。また、連結当期純損益については経営合理化の断行による特別損失の発生等から1,738百万円の損失となりました。

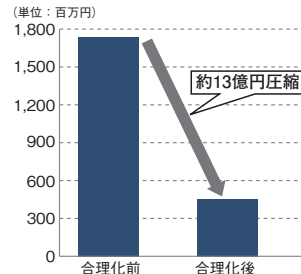
## ◆経営合理化について

当社では、2009年3月期第4四半期において、今後の不透明な経済環境下で企業活動を行えるための財務体質の強化を重視し、翌期以降の事業成長の基盤を確立するために本社費用圧縮、グループ会社見直し、保有有価証券の処分・評価厳格化、役員報酬の減額からなる経営合理化を断行いたしました。

### ■本社費用の圧縮



### ■保有有価証券残高



※上記保有有価証券残高はngi group株単体で所有している営業投資有価証券及び投資有価証券から上場株式の残高を除いて算出しております。

## 事業の状況

(単位：百万円)		2009年3月期	2008年3月期
インターネット 関連事業	売上高	4,118	1,986
	営業損益	207	△26
インベストメント& インキュベーション 事業	売上高	▶4,671	5,536
	営業損益	▶1,828	3,889
その他事業	売上高	38	253
	営業損益	△214	△208

・ 営業投資有価証券の厳格・保守的  
評価による評価損増加  
・ 上場営業投資有価証券売却抑制

(株)フラクタリストをはじめ  
各社の業績が好調  
売上約2倍、営業黒字化

### ◆インターネット関連事業

インターネット関連事業は、主に(株)フラクタリストによるモバイル関連事業、(株)RSS広告社によるインターネット広告関連事業、(株)富士山マガジンサービスによる雑誌EC事業、(株)アルトビジョンによるメールマーケティングサービスを提供しております。当事業につきましては、グループ各社が営業活動の強化に取り組んだことよって、景気後退に伴う企業のコスト削減による影響等を最小限にとどめ堅調に推移しております。なお、(株)フラクタリストはモバイルマーケティングを軸に事業再

編・経営合理化を図り、売上が急増するとともに黒字転換をはかり、更なる成長に向けモバイルSEOやモバイルアドネットワークなどの事業展開に注力しております。

### ◆インベストメント&インキュベーション事業

インベストメント&インキュベーション事業は、主にシード/アーリーステージ(創業初期段階)にある未公開企業等への投資や未来予想(株)を通じた各種インキュベーションサービスを提供しております。

当事業では市場環境等を踏まえ評価損計上や株式等の処分を進めるとともに、中長期での財務基盤強化のため上場株式の一部売却抑制を実施し、その一方でインキュベーションサービスは各サービスの営業強化をしております。

なお、当社の経営合理化の一環としてアジアでの事業展開については縮小・撤退しております。

### ◆その他事業

その他事業では主に3Di(株)が2008年5月に日本電信電話(株)(NTT)グループと資本・業務提携するとともに、オープンソースの3Dインターネットサーバーソフトウェアである「OpenSim」を基にした商用版3D仮想空間サーバーソフトウェア「3Di OpenSim」や「3Di OpenViewer」の開発に注力しております。

## 今後の方向性について

インターネットはその普及がはじまり約15年を経て、多くの技術革新によって多種多様なサービスが提供されており、先進国を中心に世界の多くの人々に利用され社会インフラとして定着してきております。

その一方で、インターネット分野は現在も進化を続けており、その新たな潮流は次世代インターネットへと続いていくものと考えております。

当社ではこの次世代インターネット領域が、今後の高い成長を見込める分野であり、当社グループが創業以来培ってきた事業経験を生かして、収益基盤の確保と事業の更なる成長の機会となると捉えており、自らが事業主体となるとともにグループ各社の事業展開と当社の事業との連携を深めて、次世代インターネット領域にグループ全体で積極的に事業展開を行っていく方針であります。

具体的な当社の次世代インターネット領域での事業展開としては、最初の取り組みとしてiPhone向けアプリの評価・検索サービス「Applie（あっぷりい）」(<http://www.applie.net>)を提供するほか、iPhoneなどの次世代インターネット領域でのアプリ企画・開発者と投資家とをつなぎ、開発資金の提供を可能とする「Applie（あっぷりい）ファンド」を開始いたします。

### ◆インターネットの新たな潮流と今後の方向性

接続機器を問わずにインターネットサービスが利用できる「マルチプラットフォーム化」

既存のプラットフォーム（サービスや会員など）を外部事業者に開放し、新たなインターネットサービスを生み出していく「オープン化」

動画や3Dなどの情報量の多いコンテンツの配信や利用者毎への情報提供の最適化、情報の双方向性が高まる「リッチ化」

<今後の高い成長が見込める次世代インターネット領域>

#### 新しいモバイルインターネット

iPhoneやAndroidといった新しいプラットフォーム上で携帯電話は新たなサービス展開が可能となる。

#### ソーシャルインターネット

mixiやFacebook等のSNSがそのプラットフォームを開放し外部事業者がサービスを展開可能となる。

#### 3Dインターネット

インターネット上で3D空間を創出し、より現実に近い表現力を活用したサービス展開が可能となる。



3分野におけるNo.1グループを目指します

## 財務ハイライト (2009年3月期)

### ◆資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)	2009年3月末	2008年3月末(参考)	増減額(減少:△)
流動資産	8,474	16,814	△ 8,339
固定資産	1,298	2,688	△ 1,390
総資産	9,773	19,502	△ 9,729
流動負債	2,738	8,425	△ 5,686
固定負債	282	397	△ 114
純資産	6,751	10,679	△ 3,928

- 資産のうち営業投資有価証券は売却や時価低下、評価損の計上等により8,131百万円減少しました。
- 負債のうち有利子負債は圧縮を進め2,635百万円減少し、727百万円の残高となりました。
- 純資産のうち自己株式についてはNTTグループとの資本・業務提携に伴って処分したことなどから1,072百万円減少しました。

### ◆キャッシュ・フローの状況

- 営業活動では、主に経営合理化に伴う特別損失の発生や、営業投資有価証券の減少などによる収入がありました。
- 投資活動では、主にグループ会社によるソフトウェア開発と投資有価証券の取得による支出がありました。
- 財務活動では、主に自己株式処分による収入があったものの、借入金の圧縮を推進したことによって支出が超過しました。

(単位：百万円)	2009年3月期	2008年3月期(参考)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,278	781
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,154	△ 413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 690	772
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 566	1,126
現金及び現金同等物の期末残高	3,903	4,469

## 株式の状況

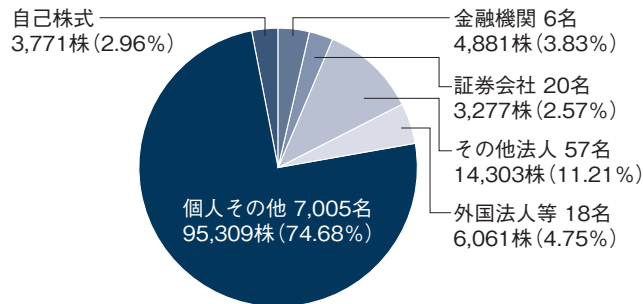
### ◆株式の状況

(2009年3月31日現在)

発行可能株式総数	443,544株
発行済株式総数	127,602株
株主数	7,107名

### ◆所有者別株式分布状況

(2009年3月31日現在)



※分布比率は小数第2位未満を四捨五入して表示しております。

### ◆大株主の状況

(2009年3月31日現在)

株主名	持株数	議決権比率
西川 潔	26,046株	21.03%
NTTインベストメント・パートナーズ ファンド投資事業組合	11,000株	8.88%
小池 聡	9,174株	7.40%
三木谷 浩史	3,900株	3.14%
日本証券金融株式会社	3,245株	2.62%

- ※1. 当社は自己株式3,771株を保有しておりますが、上表には記載しておりません。  
 ※2. 議決権比率は自己株式を控除して算出しております。  
 ※3. 議決権比率は小数第2位未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

### ◆会社概要

社 名 ngi group株式会社  
設 立 1998年2月  
資 本 金 1,827,994,000円 (2009年3月31日現在)  
上場市場(コード) 東京証券取引所 市場マザーズ (2497)  
本 店 東京都渋谷区二丁目16番5号  
マニユライフプレイス渋谷ビル5階  
※2009年7月1日より本店所在地を上記住所に移転いたします。  
従 業 員 単体44名、連結237名 (2009年3月31日現在)  
代 表 者 代表執行役社長 金子陽三

### 取締役

金子 陽三**	前刀 禎明*	北城 悟太郎*
西川 潔	中山 かつお*	谷家 衛*

※\*は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※\*\*は執行役兼務者であります。

## 株主メモ

### ◆株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
単 元 株 式 数 1株  
定 時 株 主 総 会 毎年6月開催  
基 準 日 定時株主総会 毎年3月31日  
期 末 配 当 金 毎年3月31日  
中 間 配 当 金 毎年9月30日  
その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

公 告 の 方 法 当社サイトに掲載する。  
掲載URL <http://www.ngigroup.com/jp/ir/notice/index.html>  
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	(フリーダイヤル) 0120-176-417
(電話照会先)	